

シグマ委員会核データ専門部会  
評価用データベースWG3年度第2回会合議事録

日 時 1991年9月27日(金) 13:30~17:30

場 所 日本原子力研究所 東海研 研究2棟222号室

出席者 五十嵐、浅見(NEDAC)、大澤(近畿大)、菊池、杉本、成田、千葉、  
深堀、中川(原研)

配布資料

DBE-91-07 前回議事録(1991年6月14日)

DBE-91-08 「Integrated Nuclear Data Evaluation System」(深堀、他) 92CODATAに投稿  
したアブストラクト

DBE-91-09 「IAEA Consultants' Meeting on a "Reference Nuclear Parameter Library  
for Nuclear Data Computation"」

DBE-91-10 INDESの改訂(中川)

DBE-91-11 統合核データ評価システム用理論計算コードガイダンスシステム(深堀)

DBE-91-12  $^{56}\text{Fe}$ (n,p)断面積の共分散(杉本)

議 事

1. 前回議事録確認等

前回(1991年6月14日)の議事録(DBE-91-07)を確認した。

2. 92 CODATAへの投稿

1992年10月19日~22日北京で開かれるCODATA会議にINDESを報告するため、ア  
ブストラクト(配布資料 DBE-91-08)を投稿したことを深堀氏が報告した。

3. IAEAの評価計算用パラメータファイルについて

来る11月13日~15日、IAEA(ウィーン)でConsultants' Meeting on a "Reference Nuclear Parameter Library for Nuclear Data Calculation"(配布資料 DBE-91-09)が開か  
れることを中川氏が紹介した。この会合で取り上げるNuclear Parameter Libraryとは理論  
計算コードの入力データであるmass excess、level scheme、optical model parameters、  
level density parametersを格納するためのものであり、我々の「評価用データベース」と  
内容も目的もほとんど同じである。

#### 4. 「評価用データベース」の現状

評価用データベースの現状を浅見氏が報告した。まだ作業は終わっていないが今年中には終了するように努力することとした。

#### 5. 統合核データ評価システム INDES の現状

中川氏が、研究2棟405号室のTSS端末を用いて、INDESの動作状況を説明した。同時に前回会合以降の改良点（配布資料 DBE-91-10）についても説明した。

##### 改良点

NUCL（追加）：原子核の質量、半減期、separation energy 等を表示する。

EXPINF（修正）：中性子実験データ格納検索システム NESTOR2 のデータの情報を表示し、データの検索をする。

LDP（追加）：飯島氏が作成した LEVDENS を起動し、レベル密度パラメータの決定を行う。

#### 6. 統合核データ評価システム用理論計算コードガイダンスシステム

配布資料 DBE-91-11 により、理論計算コードのガイダンスシステムの構想を深堀氏が説明した。このシステムは INDES の理論計算コードセグメントの使用を補助する目的で作成するものである。知識工学的手法を取り入れるが FORTRAN-77 でプログラムを作成する。フレーム構成、確信度の計算方法等を資料で説明した。今後更に検討を加え、その結果を核データ研究会で発表し、研究会で出される意見も取り入れて、次回までにシステム案を改良する事にした。

#### 7. $^{66}\text{Fe}(\text{n},\text{p})$ 断面積の共分散

$^{66}\text{Fe}(\text{n},\text{p})$ 断面積を例にして理論計算による評価値の共分散データ作成を行うための準備状況を杉本氏が報告した。

#### 8. その他

- 理論計算コードWGとの合同会合の必要性について議論し、当面その必要性のないことを確認した。
- 次回は、1992年 2月 4日（火）に東京で開く。